

S

広報さらべつ 8月号

Public Relations Sarabetsu 2013 vol.611

Sarabetsu

8時間後の
ゴールにむかつて

爆走開始!!



特集 更別小学校ユネスコスクールに認定

更別小学校 ユネスコスクールに認定



6月28日、更別小学校 西山猛校長(ユネスコスクール加盟
 認証書授与式が行われ、児童を代表し児童会長の鍵水輝君ら3
 名に北海道教育庁十勝教育局の山端一史局長からユネスコス
 クール加盟認証書が授与されました。

「未来を担う子どもたちに、郷土愛と国際的な視野・感覚を持つて成長してほしい」という同校の思いが、ユネスコスクールの理念に合致することから、2011年からユネスコスクールの認定に向けて準備を進めていました。

今年の1月に同校から十勝教育局を通じてユネスコ本部へユネスコスクールの加盟を申請。その後、フランスのユネスコ本部で行われた審査会において、北海道で13校目、十勝管内では初めてとなるユネスコスクールとして同校の加盟が承認されました。

ユネスコスクールに承認されたことで同校は国内、海外のユネスコスクールとの交流やユネスコが提供する多種多様な教材の活用ほかに、米国、韓国、中国などの教員相互研修が可能となります。

西山校長は「子どもたちに国際的な感覚を身に付けてもらうことや、これまでも取り組んできている地域・郷土を愛するさ

さまざまな活動についても、ユネスコスクールへの加盟によってさらに充実し発展していくことも期待している」と話されました。

また、山端教育局長は「いまの子どもたちにはグローバルな考え方が必要。この加盟を機に世界各国で加盟している学校同士でコミュニケーションをとり、リアルタイムに子どもたちの考えなど情報交換できることは素晴らしいこと。子どもたちにはいろいろな刺激を受けて頑張ってもらいたい」と話されました。

ユネスコって？

ユネスコ(UNESCO)とは、教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉を目的とした国際連合の機関です。

知床や富士山の世界遺産の登録を行っている機関としても聞いたことがあるのではないのでしょうか。

ユネスコスクールって？

ユネスコスクールとは、1953年にユネスコの理念、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉を促進)を教育現場で実現し、平和や国際的な連携を実現するため発足しました。

現在、世界180カ国で約9000校が加盟し活動しています。日本国内では、578の幼稚園、小・中学校、高校、大学などが参加しています。

その世界的なネットワークを活用し、世界中の学校と交流することが可能となり、地球規模の問題に子どもたちが生涯にわたって対処できるよう新しい教育内容(ESD・持続発展可能な教育)の開発や推進に取り組んでいます。(詳細は左ページをご覧ください)

何が変わるの？

今回の認定により特別に新しいことを取り組むことはありません。いままでも同校で取り組んできた活動の幹をより太くするために、ユネスコの協力で教材の提供や、児童と教員が国際的で多様な研修を受けることが可能になりました。

ユネスコスクールを目指すESD(持続発展教育)とは

- ↓
 国際的な感覚を養い、持続可能な社会の担い手を育む教育
- ↓ 具体的には
- 人格の発達や自律心や責任感などの人間性を育むこと
 - 人との「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと

更別小学校でいうと…

「さらべつ」への郷土愛を育む教育 地元の自然環境や産業への関心向上



JA青年部との農業体験・食育交流
 同校卒業生今井さんと夢についての授業
 友好姉妹都市の東松島市との子ども交流
 更別農業高校の生徒との世代間交流

ボランティア精神を育む教育

児童会における「いじめなくそう宣言」や各種募金活動など



平成19年から続けるいじめなくそう宣言の取り組み
 東松島市の友だちへ自分たちで育てたジャガイモを発送
 児童会が主体で取り組む赤い羽根募金の活動
 空き缶のプルタブを集めて社会福祉協議会へ寄付する活動

更別小学校が普段から取り組んでいる活動

II 合致

ユネスコの理念

西山校長が「ふるさと更別を愛し、ふるさとに誇りを持つ教育に対し、ユネスコスクールの世界的ネットワークを最大限活用できるようになりました」と説明してくれました。このページで紹介した小学校の取り組みは、ほんの一部です。ユネスコの力も借りてより大きな人間に成長することが期待されています。

ますます大きく羽ばたけ さらべつの子どもたち！！

メカ馬力炸裂!!

1万8600人がその迫力に興奮

7月14日(日)、村ふるさと館周辺で、第11回国際トラクターBAMB Aが開催されました。

大会では、出場した36台のメカ馬(トラクター)が白熱したレースを繰り広げました。来場者数は過去最多となる1万8600人を記録。遠くは三重県からの来場者もあり、大いに盛り上がり

りをみせました。上富良野町から初めて来場した農家の男性は、私の家にもトラクターはありますが、36台の数が揃うことはないの、それだけで十勝の農業の迫力が伝わってきますね。レースもスピード感があって楽しいです」と興奮した表情で話してくれました。



1



2



3



5



6



7



今年のパレード先導者 島田 千聖さん

9時00分
1 メカ馬ロードパレード
36台のド迫力行進

10時00分
2 開会式
御者(ドライバー)のみならずも緊張の面持ち

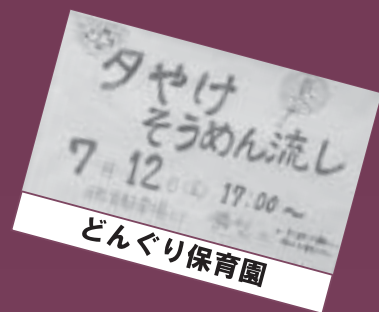
10時30分
3 予選レーススタート
自慢の手綱(ハンドル)さばきを披露

11時00分
4 どんぐりステージ
十勝豚井振興局からぶたどんまんの登場
さらべつかしわ太鼓
池田高校吹奏楽部によるダンブル
木山卓也実行委員長
健やかクラブによる
十勝トラバン音頭

13時00分
5 リッキーによる馬耕
現代のトラクターのレース会場横で開拓時代の畑おこしを再現

13時30分
6 決勝レース
優勝はもう目前。観客のみならずも勝ち馬予想のメカ馬投票の行方に一喜一憂。

15時00分
7 閉会式
優勝したみなさんおめでとうございます。BAMB A史上初のシャパンシャワー。



7/19 上更別幼稚園 七夕祭り



子どもたちの夏祭り

7月に入り、村内両幼稚園、どんぐり保育園、上更別小学校で子どもたちが楽しみにしていた恒例の夏祭りが行われました。上更別幼稚園で開催された『七夕まつり』では、浴衣を着た子どもたちが飾り付けられた笹の木を中心に輪になり踊ったり、ゲームや花火などを楽しみました。



7/25 上更別小学校 花火・あんどん祭り



7/19 更別幼稚園 夏祭り



北国に暮らす私達にとって心待ちにしていた夏ですが、近年は急に気温が高くなり暑さに身体がついていけないという方も多いのではないのでしょうか？今月は熱中症の予防と、夏を元気に過ごす食事のコツです。

熱中症とは？

熱中症は、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能がうまく働かず、体の熱をうまく外に出せなくなることから起こります。危険な症状としては、高い体温、赤く熱い皮膚、ズキンズキンとする頭痛、めまい・吐き気などがあります。高齢者や肥満の方、運動習慣のない人や暑さに慣れていない人で起こりやすく、気温や湿度が高い日、急に暑くなった日、蒸し暑い日に多くみられますが、予防法を知っておくと防ぐことができます。

日常での予防 ⚠️ 注意すること ⚠️

暑さをさける
服装の工夫

こまめな水分補給 ~ 軽い脱水時や高齢者では、のどの渇きを感じないこともあります。そこで、のどが渇く前に早めの水分補給が大切です。また、子どもは体内の水分の割合が多く、更にこまめな水分補給が必要です。

急に暑くなる予報の日

暑さに備えた体作り ~ 熱中症は暑さに慣れていない時期に起こりやすく、日頃から身体を動かし、汗をかく習慣を身に付けておくことが大切です。

休 養 も 大 切 ~ 寝不足や風邪など体調が優れない場合は、無理せずに休養をとりましょう。二日酔いなども、体内の水分が不足している可能性があります。注意が必要です。

夏を元気に過ごす食事のポイント

1日3食しっかりと ~ 食事からは、必要な栄養と共に1日に必要な水分の約半分をとっています。特に野菜は水分が多くミネラルやビタミンも豊富！毎食、食べましょう。

おかずも忘れずに ~ 食欲がないときでも食べやすいめん類も、それだけではたんぱく質が不足し、疲れやすくなります。肉・魚・卵・大豆製品などのおかずを1品とすることで、身体の調子が整い夏バテも防げます。

水分の種類 ~ 大量に汗をかいた場合には水分と一緒に塩分をとる必要もあり、スポーツドリンクなどを利用する方もみられます。ただ、食事をしっかり食べている場合は、食事から塩分や糖분을十分にとっていることとなります。高血圧や糖尿病など、塩分や糖分が心配な方はもちろん、健康な方でも 食事の前後は水やお茶にするなど工夫することで、塩分や糖分のとり過ぎを防げます。

健康に夏を乗り切りましょう！

たきざわ しょうた
特産品開発支援員 瀧澤 昌太 さん



街で会ったときには
気軽に声をかけてください

プロフィール：江別市で生まれ北海道江別高校を卒業後、江別市の大学に進学し商業について学ぶ。もともと北海道らしい農村景観が好きで田舎暮らしには興味があった。趣味はドライブ・ツーリング。



7月1日、役場で地域おこし協力隊着任式が実施され、岡出村長から瀧澤さんに委嘱状が交付されました。瀧澤さんは江別市出身の28歳。更別に来る前は、主に接客業に従事していましたが、より自分が必要とされている場所で働きたいという思いから、自分にできない仕事を探し

3月から地域おこし協力隊として活躍している渡邊孝明さんと永井有美さん。そして7月からは瀧澤昌太さんが加わりました。瀧澤さんの主な業務は特産品開発を担当します。今回は、新戦力の瀧澤さんの紹介と、着任から半年が過ぎようとしている渡邊さんと永井さんにインタビューを行いました。

地域おこし協力隊に新戦力



特産品開発支援員 永井 有美 さん



観光振興支援員 渡邊 孝明 さん

Q 着任から半年が過ぎましたがお仕事はいかがですか？
A うどんの製麺技術が安定してきたので、新たな特産品の開発も意欲的に考えたいです。もちろん、うどんをより良い商品にする研究も行っています。
Q 更別実際に住んでみての印象は？
A 知らない土地での生活に不安がありました。全ての場合、村外から来た私を温かく受け入れていた。今ではその不安はほぼなくなっています。とても心の広い方が多いところだと感じています。
Q これからの意気込みを
A 郷土芸能であるかしわ太鼓や一大イベントであるトラクターBABAなどにも参加していきます。これからの恩返しの意味も込めて、おいしいうどんを作るのはもちろんですが、仕事以外の地域活動にもますます積極的に参加していきたいです。

Q 着任から半年が過ぎましたがお仕事はいかがですか？
A フェイスブックの立ち上げや役場ホールの観光パネルの設置など、情報発信に重点を置いて活動してきました。また村の各種イベントにも初めて参加している。来年はより充実したイベントになるように、今からいろいろと考えています。
Q 更別実際に住んでみての印象は？
A とてもアツいです。イベントに参加したとき、みなさんの熱い思いを感じました。そして思ったより気温が高く暑いです。
Q これからの意気込みを
A まだまだ眠っている観光資源はあると思っています。それを掘り起こして、より魅力ある更別村を発信していきたいです。また、10月に開催するさらべつ大収穫祭がみなさんの楽しめるイベントになるよう取り組みますので期待してください。

園児が園庭で躍動



7/7



更別幼稚園運動会



7/21

どんぐり保育園
運動遊びでつながるday



中学生が全道大会で躍動



バレーボール部 ベスト8

バレーボールの全道大会は7月31日から8月1日まで伊達市で開催されました。中央中は予選1回戦、2回戦とともにセットカウント2-0で勝利し、決勝トーナメントに進出。決勝トーナメントでは、ベスト4をかけた試合で釧路北と対戦。第1セットは終始追いかける展開で17-25で落とします。第2セットは、一時リードを広げたものの、後半に逆転を許し20-25で奪われベスト4入りは果たせませんでした。主将の林華純さんは「全国を目指していたのに、自分たちのバレーができていないのが悔しいです。3年生が抜けると部員が6人になってしまいますが、チームメイトを大切に頑張りたいです」と後輩たちへエールを送っていました。

ソフトテニス部 高橋紀香・小寺杏奈組 ベスト16

ソフトテニスの全道大会は8月2日から4日まで帯広市で開催されました。中央中のペアは、1回戦の羅臼中、2回戦の浦河第一中のペアにゲームカウント4-0で勝利し、順調に3回戦に駒を進めます。3回戦では、強豪の比布中のペアに本来の力を出し切れず、ゲームカウント0-4で敗れてしまいました。試合後2人は、「対戦したことが少ないタイプの相手だったので戸惑ってしまいました。悔しいけどこれを糧にまた練習します」と前向きに話してくれました。

2人は8月13日に開催される国体予選への出場が決まっており、その大会での活躍も期待されます。



農業経営主の皆さんへ

「経営移譲」をお考えの経営主の方は、お早めに農業委員会へご相談を！

農業経営を後継者や第三者へ移譲するためには、農地を処分しなければなりません。農地の処分をするには農地法の許可や、借入れをしている農地の解約などが必要になります。

また、65歳に達する日前までに経営移譲を行わなければ、経営移譲年金（業者年金）の受給対象になりません。

新しい経営主へのスムーズな経営移譲を行うために、農業委員会までお早めにご相談ください。

問い合わせ

農業委員会事務局 ☎52-2116

温泉無料開放

9月1日(日)開村記念日

開村記念日にあたる9月1日(日)に、福祉の里温泉を無料開放します。今年度、露天風呂や内風呂の天井、脱衣所を改修しました。みなさんのお越しをお待ちしています。

また、8月12日(月)は臨時営業いたします。お盆で帰省されたみなさんと一緒にお越しください。

対象者

村内外の方どなたでも無料で入れます。

時間

午後1時～午後10時

午後9時までに受け付けを済ませてください。

受付

受付名簿に氏名、市町村名、年齢区分を記入してください。

問い合わせ

役場保健福祉課 介護保険係 ☎53-3000

大収穫祭を開催します

例年8月下旬に開催していましたが「さらべつふるさとまつり」に代わり、「JAさらべつ青年部」との共催で、下記のとおり『さらべつ大収穫祭』を開催することになりました。

さらべつの味覚が大集合！詳細は改めて広報や観光協会フェイスブックなどでお知らせしますので、お楽しみに。

とき

平成25年10月27日(日)10:00～14:00

ところ

更別村ふるさと館/屋外広場

問い合わせ

さらべつ大収穫祭実行委員会

事務局 産業課商工労働観光係(ふるさと館内)

☎52-2211



和牛の販売するモ～

野菜の販売するイモ～



救命講習を実施します

南十勝消防事務組合更別支署では今年も9月9日『救急の日』を含む『救急医療週間』(今年は9月9日から9月14日)に救命講習を実施します。

日時

平成25年9月8日～14日 9:00または13:30

上記の時間以外を希望される方はご相談ください。

コース

救命入門コース 心肺蘇生法・AEDの取扱いについて(1時間30分)の講習修了後、参加証を発行します。

普通救命講習 「救命入門コース」の内容に異物除去法・止血法を加えた講習修了後、修了証を発行します。

場所

南十勝消防事務組合更別支署 2階和室

定員

15人程度(定員未満でも開催できます)

参加資格

村内居住者、村内通勤者、学生(村内小学5年生以上)

申込締切

平成25年9月5日(木)

申込・問い合わせ

南十勝消防事務組合更別支署 消防グループ ☎52-2201



社会福祉センターにおいて、戦没者追悼式が行われ、追悼式執行委員長の岡出村長が「郷土更別の更なる飛躍に一層の努力を誓うとともに、悲しみに満ちた歴史を再び繰り返さない決意をいたします」と辞を述べました。来賓の皆さんからの追悼の言葉に続き、会場では参列された皆さんが白菊を祭壇に捧げました。式終了後に、更別神社境内の殉公碑前に会場を移し、村遺族会（穴戸功治会長）主催による戦没者慰霊祭が行われ、戦没者の在りし日を思い浮かべ、ご冥福を祈ると共に恒久平和への誓いを新たにしました。

7/12 恒久平和へ 願いを込めて



生活科学課 2年 竹内 静さん 農業課 2年 竹内 寿斗君

最優秀賞を獲得した竹内寿斗君は8月20日に倶知安町で開かれる全道大会に出場します。

東北北海道学校農業クラブ連盟主催の第43回意見発表大会が更別農業高校で開かれました。

食料・生産区分は竹内寿斗君2年生が最優秀賞に、文化・生活部門は竹内静さん（2年生）が優秀賞にそれぞれ輝きました。竹内寿斗君は長野県にある実家の家業を飛躍させる決意を、竹内静さんは介護師になるという夢を再び強く抱き、その夢を実現させることについて述べました。

竹内寿斗君は、去年、入賞できなかったことをバネに今年の大会に臨みました。昨年よりも、具体的に将来展望を表現したことで、自分の考えや想いが伝わりやすくなったのでは」と話してくれました。

6/28 東北北海道農ク意見発表大会

国がTPP（環太平洋連携協定）への交渉会合に初参加をしたこの日、村農業経営・生産対策推進会議 岡出誠司会長と村商工会 木修一会長（の共催によりTPP交渉参加抗議集会が社会福祉センターで開催されました。

はじめに岡出会長が「安全で安心な食糧生産を守るために、TPP参加は断固反対しなくてはなりません」と挨拶。細矢芳己副会長の意見表明のあと、モンサントの不自然な食べもの」の上映会を実施。150名の参加者は、農業がグローバル化することへの恐ろしさを痛感し、安心安全な農業を守る重要性を改めて確認していました。

7/23 TPP断固反対！！



更別農業高校が、夏季奉仕活動として市街地の清掃活動を、全校生徒で行いました。

生活科学科の生徒は、村シルバーハウジングの清掃活動を実施。入居者の方とともに窓拭きや、天井の清掃などを行いました。入居者の方は「普段は高いところがなかなかきれいにできずに困っていました。背の高い高校生が来てくれて助かりました。ありがとうございます。感謝の言葉を述べていました。

この活動は、夏季と秋季の2回、更別村を大切に思う気持ちや、集団活動を通して、主体的に活動する力や社会性を育むことを目的に、毎年取り組んでいます。

7/19 高校生が地域のために



7/19 末広学級道北へ

学級生が毎年楽しみにしている修学旅行へ、今年は焼尻島や天売島など道北方面に行きました。

初日は道北古前町へ向けてバスの旅。二日目は心配されていた天気も味方し、無事にフェリーは焼尻島と天売島へ。天売島ではウトウの巣穴など離島ならではの自然環境を学び、昼食では今が旬のウニに舌鼓を打ちました。

三日目、増毛町でさくらんぼ狩りを体験。いくつになっても女性は果物が大好き。お腹いっぱいになるまでさくらんぼをほおばりました。

40名の学級生はお土産を両手に、楽しい思い出を胸に、笑顔で帰路につきましました。

村と十勝スピードウェイを所有するMSF株式会社、オリックス株式会社、OR更別十勝メガソーラー株式会社は、メガソーラー事業に関する協定書を締結しました。

この協定書では、4者が協力し事業を進めることを確認。事業実施にともなう建設工事における役割や資材などを、可能な限り村内から調達することや、各自協力し地域振興に努めることを確認しています。

岡出村長は、この協定の締結によって、安全でクリーンな農村イメージをより高め、道の駅、カントリーパークと有機的に相乗効果を上げて、村の活性化につなげたいとメガソーラー事業への期待を話しました。

7/15 メガソーラーで協定書調印



7/28 コンサートで 絆を確認

社会福祉センターで、友好姉妹都市である東松島市との交流事業としてハラハラシンガーズ絆コンサートが開催され、約200人がその歌声に聞き入りました。

男性4人組コーラスグループハラハラシンガーズは、2006年から、さらべつかしわ太鼓保存会と交流があり、更別での公演は4回目。この日はNHKの復興支援ソング花は咲く」など14曲を披露。同じく東松島市のシャンソン歌手飯淵由美さんも4曲を披露しました。

公演の中盤には、メンバーと市民が、震災の恐ろしさやその後の復興状況を語り、更別村からの支援に感謝を述べました。

村と村生活安全推進協議会（若園則明会長）などは、交通安全を呼び掛ける旗の波作戦を展開しました。

これまで旗の波作戦は秋の交通安全運動に合わせて9月に行ってきたが、今年6月30日に村道で交通死亡事故が発生したことから、夏の交通安全運動初日のこの日、急ぎよ実施しました。

旗の波作戦には約90人が参加。開会式で岡出村長が「絶対に犠牲を出さない気持ちで防止に取り組みしましょう」とあいさつ。若園会長も交通安全の徹底を呼び掛けました。

参加者はこの後、道道駒島更別線沿いの歩道に並び、「安全運転」などと書かれた黄色い旗を掲げ、ドライバーにアピールしました。



7/10 事故のない村を目指して



お知らせ

異常気象に対し『特別警戒』の発表を開始します

気象庁は、これまでの大雨や津波などの「警戒」に加え、警戒の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合、特別な警戒を呼びかける「特別警戒」を新たに発表します。対象となる現象は、東日本大震災のような非常に高い津波、居住地に大きな影響のある火山噴火、これまでに経験が無いような低気圧や台風による激しい豪雨や暴風など異常な気象現象が発生した場合が該当になります。

津波、火山噴火については、既にある大津波警戒、噴火警戒のうち、危険度が非常に高いものを特別警戒として、従来の名称のまま発表します。特別警戒が発表された場合、お住まいの地域は一生のうちに何度も経験しないような非常に危険な状況です。屋外の状況や避難指示・勧告に留意し、直ちに命を守るために最善の行動をとってください。

また、従来の警戒も重大な災害の起こるおそれがある場合に発表しています。大雨などの被害を防ぐには、時間をおって発表される気象情報を活用し、早め早めの行動をとることがあなたや家族の命を守ります。

問い合わせ
帯広測候所 ☎25 - 2334
気象庁ホームページ
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>

「空の日」記念 航空まつりを開催します

子どもから大人まで楽しめる「航空まつり2013」を開催します。普段は近くでは見ることのできない機体や作業車の見学をすることができます。

また、小学校3年生から中学生までを対象に管制塔・気象施設の見学会も

実施します。参加には事前申込が必要になりますので、往復はがきに「管制塔・気象施設の見学会参加希望」と記載し、住所、氏名、年齢(学年)、連絡先、保護者氏名を記入の上、8月23日までに実行委員会まで申し込みください。ただし、申込多数の場合は抽せんとしてさせていただきますのでご了承ください。

日時
9月8日(日)10時00分～15時00分
(管制塔・気象施設の見学会については13時～14時)
場所
とかち帯広空港
問い合わせ
空の日実行委員会(帯広空港事務所内) ☎27 - 8502

戦後海外から引き揚げて来られた皆さんへ

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方からお預かりしている、約87万件の通貨や証券などの保管証券類をお返ししています。

返還の請求は本人だけでなく、家族の方でも構いません。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ
函館税関釧路税関支署十勝出張所 ☎01558)2 - 0406

帯広地区矯正展の開催について

帯広刑務所では、施設の果たす役割をご理解いただくため、全国の刑務所で製作した木工家具製品や金属製品などの刑務作業製品を展示即売します。所内で収穫した野菜の格安販売も行いますので、多くの皆さんのご来所をお待ちしています。

日時
9月14日(土)9時00分～15時00分
場所
帯広市別府町南13線33番地
帯広刑務所
問い合わせ
帯広刑務所企画部門 ☎48 - 7998

障がい者雇用促進フェアを開催します

管内における障がい者の一層の雇用促進を図るため、ハローワーク帯広、十勝総合振興局、帯広市の共催により、企業担当者と障がい者が一堂に会する「集団お見合い方式」による面接会を開催します。

参加を希望される方は、事前に障害者求職登録の手続きが必要ですので、ハローワークへお問い合わせください。

日時
10月10日(木)13時30分～16時00分
場所
とかちプラザ(アトリウムほか)
問い合わせ
ハローワーク帯広 専門援助部門 ☎23 - 8296

音声案内がありますので部門コード「43#」を押してください。

入校前適性相談の実施について

国立北海道障害者職業能力開発校では、休職中の障がい者(応募希望者)の入校前適性相談を実施します。

実施期間は平成26年3月14日(金)までです。詳しくは当校または最寄りのハローワークへお問い合わせください。

問い合わせ
国立北海道障害者職業能力開発校 ☎0125)52 - 2774

子育て体験のエッセーを募集します

一般財団法人子ども未来財団では、「第17回子ども未来賞」のエッセーを募集しています。育児で味わう感動や喜び、苦しさやそれを乗り越えたときの充実感、子どもとの生活で感じたこと、育児を支えてくれた人たちのことなど、様々なエピソードをあなたの言葉でつづってください。

詳しくは一般財団法人子ども未来財団のホームページをご覧ください。
<http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/miraisyo/25miraisyo-17bosyu.html>

募集期間
平成25年9月10日(火)まで
応募先
〒105-0003
東京都港区西新橋1-12-10 西新橋ホームビル4階
問い合わせ
一般財団法人子ども未来財団 事業部「子ども未来賞」係 ☎03)510 - 1832

障がい者就労支援 ネットワークセミナーの開催について

障がいをお持ちになる方の就労に関する相談会・セミナー・意見交換会を開催します。

「働きたいけど...」「職場での人間関係が...」「これから雇用したい」などのご相談や、「地域の就労に関する情報をもっと知りたい」「雇用に関することを知りたい」などの勉強会、気軽に地域の情報を交換しあえる意見交換会となっています。興味のある方はご参加ください。

開催日
9月2日(月)
場所
大樹町高齢者保健福祉推進センター「らいふ」
スケジュール
11時00分～12時00分 相談会
13時30分～14時00分 就労セミナー
14時40分～15時40分 意見交換会
問い合わせ
十勝障害者就業・生活支援センター だいぢ ☎24 - 8989

建設工事の相談窓口 建設ホットラインについて

北海道の建設業は厳しい経営環境の中にあり、建設工事の請負契約における元請・下請間のトラブルが依然多い状況にあります。

このことから北海道では、建設工事の請負契約上のトラブルの相談窓口を十勝総合振興局にも設置しています。トラブルでお困りの方は、相談窓口をご活用ください。

相談窓口
十勝総合振興局帯広建設管理部
建設行政室建設指導課土木係 ☎27 - 5083

知っていますか 道の「苦情審査委員」制度

「北海道苦情審査委員」制度とは、道が行った業務や制度の内容を審査する制度です。

みなさんの利害に関することで、道政に対する苦情であれば「苦情審査委員」に申し立てができます。申し立てをすると皆さんに代わって「苦情審査委員」が公正で中立的な立場から、道の関係機関に対し、必要な調査を行います。審査の結果、道の業務に不備な点や制度に問題があるときは、道に是正や改善を求めます。

苦情申立の窓口は、道庁の「道政相談センター」か各総合振興局の「道政相談室」です。申し立てる場合は、「苦情申立書(各窓口やホームページにてご用意ください)」に必要事項を記入し提出してください。

問い合わせ
総合政策部知事室道政相談センター ☎011)204 - 5523(内線21 - 706)

募集

自衛官を募集します

募集種目	募集資格	募集期間	試験日
航空学生	高卒(見込含)21歳未満	8月1日～9月6日	1次 9月21日
一般曹候補生			1次 9月16日 17日
自衛官候補生	女子	試験日の前日まで	9月26日
	男子		9月27日～28日

問い合わせ
帯広市西5条南14丁目NCサウスビル
自衛隊帯広募集案内所 ☎23 - 8718

国民年金

国民年金保険料は納付期限までに納めましょう

平成25年4月分から平成26年3月分までの国民年金保険料は、月額15,040円です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関や郵便局、コンビニで納めることができます。また、クレジットカードによる納付やインターネットなどを利用した納付、そして便利でお得な口座振替もあります。

日本年金機構では、国民年金保険料を納付期限までに納めていただけない方に対して、電話、書面、面談により早期に納めていただくよう案内を行っています。

未納のまま放置されると、強制徴収の手続きによって督促を行い、指定された期限までに納付がない場合は、延滞金が課されるだけでなく、納付義務のある方の財産を差し押さえることがありますので、早めの納付をお願いします。

所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、免除制度や猶予制度がありますので、役場の年金窓口へご相談ください。

問い合わせ
住民生活課戸籍窓口係 ☎52 - 2112

税

村・道民税第2期、国民健康保険税 第2期納期限は9月2日(月)

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

問い合わせ
役場住民生活課住民税係

☎52 - 2112

更別村文化・スポーツ賞候補者募集

教育委員会では、皆さんから推薦のあった個人や団体へ文化・スポーツ賞などを贈り、功績を讃えています。皆さんからの推薦をお待ちしています。

表彰内容

文化・スポーツ賞

文化・スポーツの向上発展に、特に功績が顕著であると認められる個人や団体

文化・スポーツ奨励賞

各種団体の育成普及推進に寄与した方や大会などで成績が優秀と認められる個人や団体

受賞候補者の推薦

9月20日(金)までに教育委員会事務局へ『文化賞・スポーツ賞等候補者推薦書』を提出してください。推薦書は事務局で配布しています。



総合誌『さらべつ』原稿募集中!

毎年3月に発行している総合誌『さらべつ』の原稿を現在募集しています。

応募資格

村に住んでいる方や住んでいた方、村にゆかりのある方

募集作品

提言/論説/文芸作品(小説・詩・俳句・随筆など)/芸術作品(絵画・書道など写真で出品)/腕自慢(農作物・家畜など腕自慢になるものを写真で出品)/更別物語(昔話・回顧録・村の歴史など)/その他(旅行記・生活記録など)

応募方法

教育委員会事務局でお渡しする原稿用紙に20枚以内でお書きいただき、住所・氏名を明記してお寄せください。(ペンネームの場合はその旨を付記)原稿はお返しできませんのであらかじめご了承ください。

募集締切

9月30日(月)

問い合わせ

教育委員会事務局社会教育係 ☎52 - 3171

たくさんの応募
お待ちしております



教育委員会事務局
社会教育係 永田 蘭 主事

声のテーブル～公聴ハガキをいただきました～

質問

昔は更別の街にも大きな桜の木があったと聞きます。今なら樹齢何十年ということだけで人が集まる樹"だったのかなと思います。それだけではなく、長きにわたり更別を見つめてきた樹を残してほしかったと思います。

今、市街地活性化により再開発されようとしている土地にも、きれいな花を咲かせる樹が空高く伸びています。そんな樹々を残したまちづくりをして欲しいです。さらべつが自然とともに生かされたらと願います。

回答

村では潤いのある景観環境を整備することから、市街地や公共施設周辺の樹木の保全と植栽を行っています。

木々の緑は目に優しく、木陰は厳しい日差しをさえぎりそこにいる方に心地よい涼を与えてくれるものです。人々が安らげる環境を形づくる上でも、極力樹木を伐採せずに施設を整備するよう努めています。

しかしながら、樹木にも寿命があり、風雪害などにより樹木が弱り倒木による被害が懸念されることもあります。また、施設の配置を行う中で障害となる場合もあります。

数十年にわたり地域を見つめて続けてきた思い入れのある樹木もあることから、伐採については配慮をしながら対応していきたいと考えていますが、計画や経費の都合上やむを得ず伐採に至ることもありますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ

企画政策課政策調整係 ☎52 - 2114

更別農業高校 ニュース

笑顔があふれた更農祭

更農祭実行委員長

伊藤 夢華

今年度のスクールテーマである「ニコニコ みんなでつくる更農祭」の言葉に添えるような更農祭にしようと、私たち実行委員は力を尽くしてきました。時にはまとまらなかったり、ギリギリまで決まらないこともあり、みんなで作るという難しさに気づかれました。しかし、その中に「ニコニコできる瞬間」がいくつも隠れていました。

「楽しんでくれる企画、楽しめる企画」として、新たにクイズ大会や男装・女装コンテストを開催しました。三年生にとっては最後の更農祭。一日目のスポーツ大会では、学年を超えたクラス同士がぶつかり合い、曇天の空も晴れに変わってしまった熱気に包まれ、声援が止みませんでした。二日目のパフォーマンスやステージでは、クラスそれぞれの個性が光り輝き、皆楽しそうに踊り、ここにも笑顔が満ちあふれていました。



更農祭の笑顔や日常の写真を集めて三文字の「えがお」を描いたモノコメントは、クスリと笑える写真があったり、こんなこともあったなと思いつける写真があったりと、更農生が作りだした更農生の笑顔があり、笑顔はすごいなと改めて感じました。



7/3 ~ 9
村長杯
野球選手権大会
優勝 RS
準優勝 K M B C

7/3 ~ 9
行政区対抗ソフト
ボール選手権大会
優勝 旭 区
2位 北更別 区
3位 東栄 区
3位 教員選抜

5/27 7/2
更別あさ野球大会
優勝 K M B C
2位 RS
3位 T B C

Sports

農村環境改善センター 今月の図書室 おすすめ本

仕事発見! 生きること働くことを考える
毎日新聞社 / 編
仕事の現場に密着し、実際に働いている人の声も聞きながら、全55のさまざまな職業を紹介。



親の家を片づける
ゆうゆう特別編集
ある日突然、膨大な老親の荷物や家の整理と処分が、自身に降りかかってきたら、あなたならどうしますか?



かしこいおかず
毎日新聞社 / 編
この1冊であなたも本当のお料理上手に! シーンに合わせた応用のきく50種類のメニューが満載。



戸籍の窓口

希望者のみ掲載

誕生おめでとう

山内 恵美莉ちゃん
優也・あ (中央町)

高久 りくちゃん
明裕・由己子(北更別区)

保護者敬称略

お悔やみ申し上げます

井口 昇さん 61歳
(更南区)

今野 吉雄さん 88歳
(更南区)

中屋敷 政子さん 94歳
(更別東区)

福士 惣一さん 91歳
(曙町)

細川 ツル子さん 90歳
(平和区)

宮本 隆義さん 65歳
(曙町)

今城 敏行さん 59歳
(中央町)

徳尾 貞子さん 77歳
(緑町)

星山 英男さん 87歳
(勢雄区)

大石 精一さん 81歳
(上更別南区)

訂正とお詫び

広報さらべつ7月号で誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。

16ページ「お悔やみ申し上げます」

(誤) 村瀬 勇彦さん 83歳

(正) 村瀬 勇彦さん 72歳

人のうごき

人口

3,379人(-8人)【内外国人8人】

男1,674人(-7人)

【内外国人4人】

女1,705人(-1人)

【内外国人4人】

世帯数

1,291世帯(-7)

【内外国人4世帯】

7月1日現在。()内は前月比。



佐藤 燎くん
平成24年8月23日生
柏町

三男の「燎」です。兄2人に鍛えられ、ちょっとの痛いじゃ泣かないたくましい子になってきました。これからも笑顔のかわいい元気なかかりでいてね。

裕・久美子



木村 愛心ちゃん
平成24年8月7日生
緑町

初めまして。バナナと絵本が大好きな愛心です。保育園に行くようになってから家ではママにべったり そんな愛心に癒されています。元気で明るく優しい子に育ててね!

祐希奈



小谷 一矢くん
平成24年8月26日生
協和区

小谷家の長男「一矢」です。よく食べ、よく寝、よく遊び、ヤンチャ盛りの真っ只中!! すすすく元気に育ってくれることを日々願っています。

行正・香



又木 道夫くん
平成24年8月24日生
新栄町

元気にすすすく育ってくれてありがとう。家ではイタズラ大好きやんちゃ坊主。一歩外へ出ると頂面の借りてきた猫になります。いっぱい食べて大きくなってね。

紳一郎・由香

広報さらべつ 8月号
Public Relations Sarabetsu 2013 vol.611
Sarabetsu

平成25年8月12日発行 (vol. 611)

更別村役場 住民生活課

〒089 - 1595

北海道河西郡更別村字更別

南1線93番地

☎0155(52)2111(代表) ☎0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) village-office@sarabetsu.jp

地域安全ニュース

更別村の交通死亡事故死ゼロ記録

31日(7月31日現在)

7月の村内交通事故件数

3件(人身1件 物損2件)

【今年1月からの計29件】

7月の村内犯罪発生件数

1件

【今年1月からの計3件】

7月28日、十勝スピードウェイで16回目となる、2013全日本ママチャリ8時間耐久レースが開催されました。
今大会には中央中学校の3年生6名が先生2名とともに参加。初参加した佐藤友佑くんは、とても疲れたけど楽しかった。ぜひまた参加したいと、疲労感の中にも完走できたという達成感のある表情で話してくれました。

表紙の風景